

**全国学力・学習状況調査結果についてのお知らせ**

平成19年4月に小学校6年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査の調査結果がまとまりました。この調査結果を踏まえ、今後の本校としての取組についてご説明します。

なお、今回の調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面にすぎません。この調査結果に一喜一憂することなく、児童一人ひとりの力をつけることに、引き続き取り組んでまいります。

地域・保護者のみなさまには、本調査の趣旨を十分に理解した受け止め方をしていただけるようお願いいたします。

**調査結果の概要****1 教科学習状況調査結果**

<国語・算数結果> 共通の傾向

A問題 「知識」はおおむね理解しています。

B問題 「知識・技能」を活用する力に課題があります。

<国語> よい状況と考えられる内容 指導・改善が必要と考えられる内容

**書くこと** 文章の中から必要な言葉を選んで内容を整理すること

説明文で述べられている事柄の理由を要約すること、条件に即して書き換えること

**読むこと** 二つの文章の共通点を評価し、自分の考えをまとめること

文章の内容と資料の情報とを関連付け正しく読みとること

**言語事項** 接続語の使い方、指示語が示す内容を理解すること

<算数> よい状況と考えられる内容 指導・改善が必要と考えられる内容

**数と計算** 整数、小数、分数の四則計算をすること

**量と測定** 基本的な平面図形やL字型の図形の面積を求めること

地図から複数の図形を見出し、必要な情報を取り出して面積を比較し説明すること

**数量関係** 伴って変わる二つの数量について、関係を表にまとめ変化の規則性を読みとること  
式の形に着目して計算結果の大小を判断し、根拠を明確にして説明すること

**2 質問紙調査結果**

朝食の摂取率が高い。

就寝時刻が遅く、起床時刻も遅い傾向がある。

学校で好きな授業や楽しみにしている活動があると回答した割合が高い。

普段の学習時間が長い(例：2時間以上)と回答した割合が高い。

地域行事に参加している割合が低い。

規範意識(「学校のきまりを守る」「いじめはいけない」)がやや低い。

**3 質問紙調査クロス集計結果** 質問紙調査の結果と教科学習状況の正答率とのかかわり

「授業の内容がわかる」と肯定的に回答した児童生徒の正答率が高い。

「朝食摂取」「適度な睡眠」など、生活のリズムができている児童生徒の正答率が高い。

家で学校の宿題をしていると回答した児童生徒の正答率が高い。

特にB問題に関して、新聞やテレビのニュースなどに関心があると回答した児童生徒の正答率が高い。

人の気持ちが分かる人間になりたいと回答した児童生徒の正答率が高く、また若干ではあるが、B問題でその傾向が顕著に見られた。

## 全国学力・学習状況調査実施の概要

- 1 調査の目的
  - ・ 全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況を把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ること。
  - ・ 各教育委員会、学校等が全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図ること。
- 2 調査日時  
平成19年4月24日(火)
- 3 調査内容
  - (1) 生徒に対する調査
    - ア 教科に関する調査  
国語A、算数A 主として「知識」に関する問題  
国語B、算数B 主として「活用」に関する問題
    - イ 質問紙調査  
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査
  - (2) 学校に対する調査(学校質問紙)  
学校における指導内容、指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況及び生徒の体力・運動能力の全体的な状況等に関する調査
- 4 調査対象  
小学校6学年、中学校3学年
- 5 調査結果の公表や返却
  - (1) 公表の方向性  
「実施に当たっては、子どもたちの学習意欲の向上に向けた動機付けを与える観点も考慮しながら、学校間の序列化や過度な競争等につながらないよう十分な配慮が必要である」
    - ・ 国、都道府県単位(47)
    - ・ 地域の規模別(大都市、中核市、その他の市、町村など)
  - (2) 返却  
都道府県、市区町村、学校に調査結果を返却

### <今後の取組>

生活の様子は全ての基本です。生活に関する質問紙調査結果から、早寝早起きはもちろんのこと、朝ご飯をしっかりと摂ることや生活リズムを整えることを大切にしなければなりません。また、本校の6年生は家で長時間テレビをみたりゲームをしたりする子が多くいます。家での時間のつかい方を指導し、整った生活リズムで毎日過ごすことや、決まった時間に学習する習慣をつけるようにしていきます。生活習慣や健康に関することについてなど確認する時間をつくり、学校生活の中においても、自分の生活を見つめ直す場を設定していきます。

心豊かな学校生活を送ることができるようにするためにも、人と人とのかかわりを広げることができるようにしたいと考えます。委員会活動や係活動などを通して、多くの友達とかかわることができる場を作り、友達の気持ちを考えたり、友達のよい行動に目を向けたりできるようにしていきます。

本校の6年生は、調べ学習に対して消極的な傾向が見られます。自分が興味をもったことや、疑問に思ったことなどについて、辞書などを活用して調べ学習が進められるようにしたいと考えます。分からない漢字の読み方や意味について辞書を活用して調べる。理科で不思議に思った自然現象について図書館に行って調べる。など、調べ学習に進んで取り組むことができるようにしていきます。

以上、本校の6年生の傾向が全学年にもみられると考え、学年に応じた支援をしていきます。